

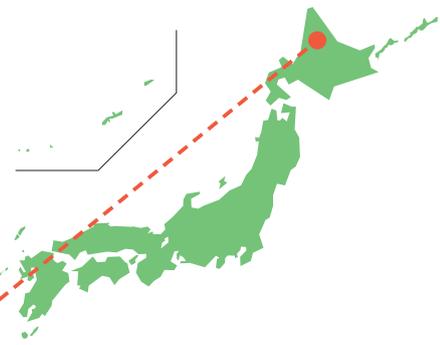
写真で見る

都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

しべつ
士別市 (北海道)



令和
4年
(2022年)



士別神社周辺の風景



教育委員会生涯学習部
博物館主事 (学芸員)
なかむらけいすけ
中村圭佑さん

産業を通して人が集まるまち 士別

士別市は北海道の北部に位置し、農業や林業をベースに発展してきたまちです。現在でも、うるち米栽培の日本の北限であり、農業はまちの基幹産業になっています。また、農業や林業以外にも多くの産業があり、めん羊牧場、製糖工場、自動車試験場、スポーツ合宿など、さまざまな産業を通して、多くの人々が観光や仕事などで本市を訪れています。最近では、古いレンガ倉庫を利用したクラフトビールの製造も行われており、今なお産業のまちとして歩み続けています。

写真は、昭和30年代と現在の士別神社周辺の風景です。約60年前には、農業(水稲)がまちの中心部でも行われていました。現在は住宅地となっており、神社のある九十九山だけが当時の面影を残しています。



田植えを行う人たち

昭和
35年
(1960年)